

町内遺跡'05

——長野県北佐久郡御代田町内遺跡平成17年度発掘調査報告書——

2006

長野県御代田町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県北佐久郡御代田町内の町内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 調査は、平成17年度国庫補助事業として、調査担当者を堤隆とし、御代田町教育委員会が次の期間実施した。
- 3 発掘調査期間 平成17年4月15日～平成18年3月24日
遺物整理期間 平成17年4月15日～平成18年3月24日
- 4 本書に掲載したのは宮平遺跡の試掘調査報告である。
- 5 本調査、整理にかかわった調査員・作業員は以下のとおりである。
主任調査員：鳥居 亮
調 査 員：都築恵美子
作 業 員：中込輝子、砂運尾恵美子、行田祐子
- 6 本書の執筆および編集は、御代田町教育委員会の責任のもとに、堤 隆がおこなった。

目 次

例 言	
目 次	
本 文	
I 宮平遺跡 調査概要	2
II 宮平遺跡の遺構と遺物	3
III 図 版	6

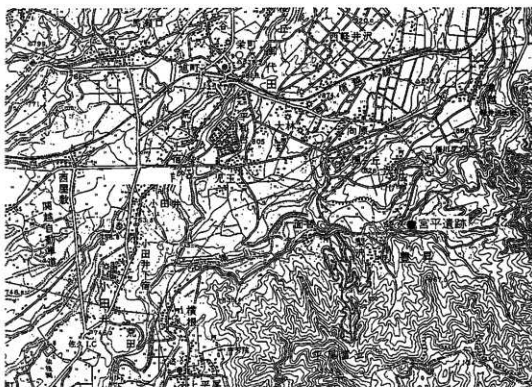
I 宮平遺跡 調査概要

御代田町大字豊昇字宮平に所在する宮平遺跡は、縄文時代中期から晩期にかけての重要遺跡であり、町史跡に指定されている。宮平では、大型農機による深耕もなされており、遺跡への一部破壊も懸念される。また、その構造・規模等も明確でないため、重要遺跡の範囲確認・性格把握のため国庫補助事業として発掘調査を継続している。

平成17年度は、堅穴住居址の調査、および調査区の精査を実施した。住居址内からは、縄文時代中期の深鉢・打製石斧などが検出された。

また、室内作業として数年来、国庫補助事業として実施している宮平遺跡の発掘出土遺物の水洗、注記、復元作業などを継続実施した。

あわせて、埋蔵文化財保護の普及・啓発を目的として、5月14日、6月5日、7月17日、10月8日に、一般住民対象の宮平遺跡体験発掘事業を行った。また、3月後半には、浅間縄文ミュージアムにおいて、出土品の展示を行い、一般公開を行った。



第1図 宮平遺跡の位置 (1:50000)

Ⅱ 宮平遺跡の遺構と遺物

平成12年度から17年度にかけて検出された遺構は、第3図・第1表のとおりである。

このうち平成17年度には、現場作業としてJ-39・42号住居址、およびD-57・58号土坑の調査を行った。

また、室内作業としては、J-35・37号住居址の土器の復元作業を行ったほか、これまでの継続調査で出土した遺物の水洗・注記・接合・実測・製図作業などを実施した。

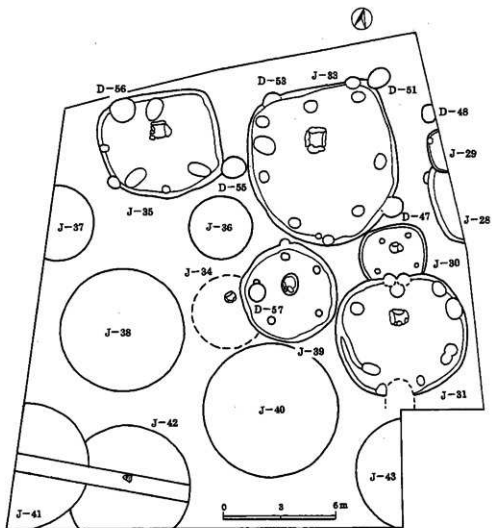
本年度に作業を実施したJ-35号住居址から出土した縄文中期の石棒の実測図、埋堙の復元写真、J-42号住居址から出土した深鉢の復元写真を以下の頁に図示しておく。

第1表 2000～2005年度の調査で検出された遺構数

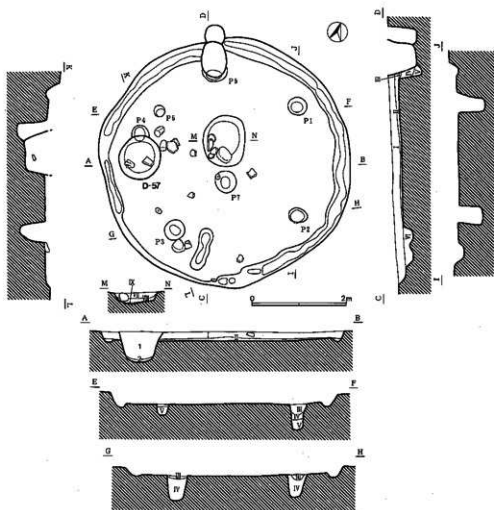
遺構名	住居址	土坑	配石	土器組み
数	15軒	10基	4基	1基
No	J-28～J-43	D-47～56	B-1・2・3	B-4



第2図 宮平遺跡の体験発掘（埋蔵文化財保護の普及・啓発事業）5月14日



第3図 宮平遺跡2000~2005年度調査区全体図 (1:200)



土層説明

- I層 黒褐色 (10YR2/3) 5-10mmほどのパミスを少量含む、こぶし大の大きなパミスも含む。
- II層 黒褐色 (10YR3/2) 5-10mmほどのパミス・ローム粒子をよく含む。しまりがある。
- III層 黒色 (10YR2/1) 5mmほどのパミスをよく含む。
- IV層 暗褐色 (10YR3/3) 20-30mmほどのパミスをよく含む。ロームをブロック状に含む。
- V層 褐色 (10YR4/6) 埋め戻したローム層。
- VI層 褐色 (10YR4/4) ロームをブロック状に含む。貼り床か。
- VII層 黒色 (10YR2/1) 炉の覆土。ローム粒子を含む。焼土は混じらず。
- VIII層 黒褐色 (10YR3/2) 炉の覆土。ローム粒子をよく含む。焼土は混じらず。
- IX層 暗赤褐色 (5YR3/6) 被熱により赤化したローム層。

第4図 宮平遺跡J-39号住居址実測図(1:80)



第5図 宮平遺跡遺構プラン確認



第6図 宮平遺跡調査風景



第7図 宮平遺跡J-39号住居址調査・測量風景



第8図 宮平遺跡出土遺物 復元作業 (J-35号住居址埋塞)



第9図 宮平遺跡J-39号住居址



第10図 宮平遺跡J-39号住居址炉



第11图 宫平遺跡J-39号住居址打裂石斧出土状态



第12图 宫平遺跡D-57号土坑



第13図 宮平遺跡 J-42号住居址土器出土状態



第14図 宮平遺跡 J-42号住居址出土深鉢 勝坂式最終末期（并戸尻Ⅲ）



第15图 宫平遺跡 J-35号住居址



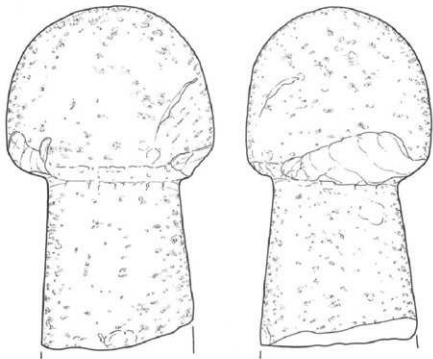
第16图 宫平遺跡 J-35号住居址炉内 石棒出土状態



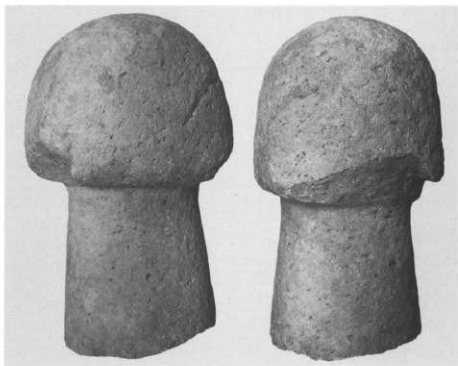
第17图 宫平遺跡J-35号住居址内 埋甕出土状態



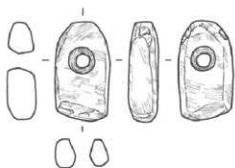
第18图 宫平遺跡J-35号住居址 埋甕(加曾利E III)



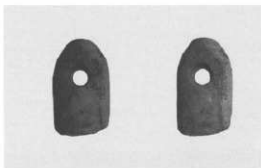
第19図 宮平遺跡J-35号住居址 石棒実測図 (1:2)



第20図 宮平遺跡J-35号住居址 石棒写真 (およそ1:2)



第21図 宮平遺跡調査区内包含層出土 垂飾 (1:1)



第22図 宮平遺跡調査区内包含層出土 垂飾 (およそ1:1)

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせき '05				
書名	町内遺跡 '05				
副書名					
巻次					
シリーズ名	御代田町埋蔵文化財発掘調査報告書				
シリーズ番号	第36集				
編著者名	堤 隆				
編集機関	御代田町教育委員会				
所在地	〒389-0207 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1901-1 TEL 0267(32)8922				
発行年月日	2006年3月24日				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	調査期間	調査面積	調査原因
宮平遺跡	長野県北佐久郡 御代田町	1323	平成17年 4月15日～ 平成18年 3月24日	300㎡	試掘確認調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
宮平遺跡	集落址	縄文中期・後期	竪穴住居址 7軒	深鉢・打製石斧 石鏃・垂飾	

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書

第1集	御代田町教育委員会	1975	『馬瀬口下原古墳群』
第2集	御代田町教育委員会	1985	『野火付遺跡』
第3集	御代田町教育委員会	1985	『宮平遺跡—遺構編一』
第4集	御代田町教育委員会	1986	『大沼遺跡』
第5集	御代田町教育委員会	1987	『前田遺跡』
第6集	御代田町教育委員会	1988	『十二遺跡』
第7集	御代田町教育委員会	1989	『根岸遺跡』
第8集	御代田町教育委員会	1989	『広畑遺跡』
第9集	御代田町教育委員会	1990	『聖原Ⅱ遺跡』
第10集	御代田町教育委員会	1991	『川原田・城之腰遺跡発掘調査概要報告書』
第11集	御代田町教育委員会	1992	『城之腰遺跡』
第12集	御代田町教育委員会	1992	『細田・塚田・下荒田遺跡発掘調査概要報告書』
第13集	御代田町教育委員会	1993	『川原田遺跡—平安・中世編一』
第14集	御代田町教育委員会	1993	『細田遺跡』
第15集	御代田町教育委員会	1993	『滝沢調査概要報告書』
第16集	御代田町教育委員会	1993	『西駒込・東二ッ石・湧玉遺跡』
第17集	御代田町教育委員会	1994	『下弥堂遺跡』
第18集	御代田町教育委員会	1994	『塚田遺跡』
第19集	御代田町教育委員会	1994	『前藤部・聖原Ⅱ・清水平・上壁敷・湧玉遺跡』
第20集	御代田町教育委員会	1995	『下荒田遺跡』
第21集	御代田町教育委員会	1995	『東荒神・下大宮・関屋・中屋際遺跡』
第22集	御代田町教育委員会	1997	『川原田遺跡』
第23集	御代田町教育委員会	1997	『滝沢遺跡』
第24集	御代田町教育委員会	1998	『めがね塚1号古墳』
第25集	御代田町教育委員会	1998	『町内遺跡'97』
第26集	御代田町教育委員会	1999	『前藤部遺跡』
第27集	御代田町教育委員会	1999	『町内遺跡'98』
第28集	御代田町教育委員会	2000	『宮平遺跡』
第29集	御代田町教育委員会	2000	『町内遺跡'99』
第30集	御代田町教育委員会	2001	『御代田町遺跡地図』
第31集	御代田町教育委員会	2001	『町内遺跡'00』
第32集	御代田町教育委員会	2002	『町内遺跡'01』
第33集	御代田町教育委員会	2003	『町内遺跡'02』
第34集	御代田町教育委員会	2004	『町内遺跡'03』
第35集	御代田町教育委員会	2005	『町内遺跡'04』
第36集	御代田町教育委員会	2006	『町内遺跡'05』

町内遺跡'05

—長野県北佐久郡御代田町内遺跡平成17年度発掘調査報告書—

2006年3月24日 発行

編 集 長野県御代田町教育委員会

発 行 長野県御代田町教育委員会

印 刷 ほおずき書籍株式会社

